

富士見市防災環境カルテ
羽沢3丁目町会

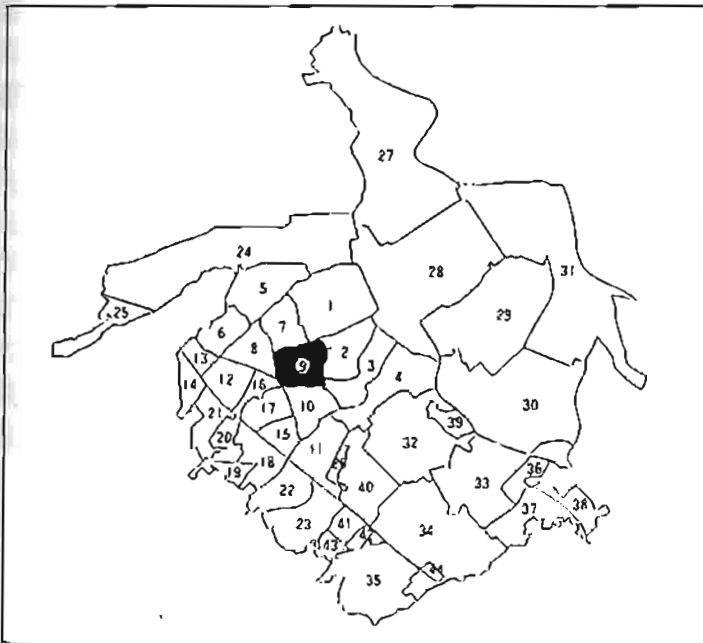
位置番号 9

概況

羽沢3丁目町会は、富士見市の中央に位置し、町会全体が台地（台地段丘）で形成されている。北側は、県道三芳・富士見線が、西側に県道大井・朝霞線が通り、市史編さん室、シルバー人材センター、鶴瀬コミュニティセンター（鶴瀬公民館）がある。

環境は、武蔵野台地上の住宅と畑に囲まれた良好な地域である。昭和34年以前は家屋棟数（30棟）と少なく静かな農村地帯であった。しかし、台地の中央部の畑は宅地化されて、人口も増加し、住宅の密集化が進んでいる。水害は、水害履歴から台風による大雨により住宅地付近の畑が冠水する内水災害が予想される。地震災害は、木造建物密集地内で火災が発生した場合、延焼の危険性がやや高いと予想される。

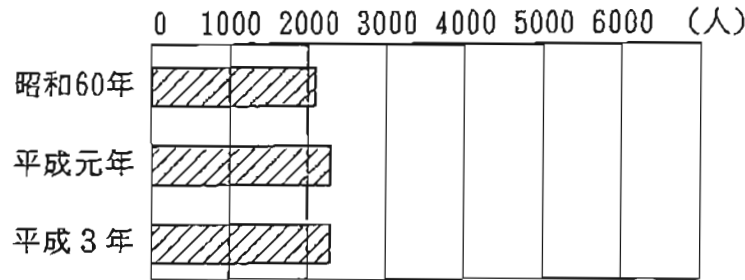
位置図



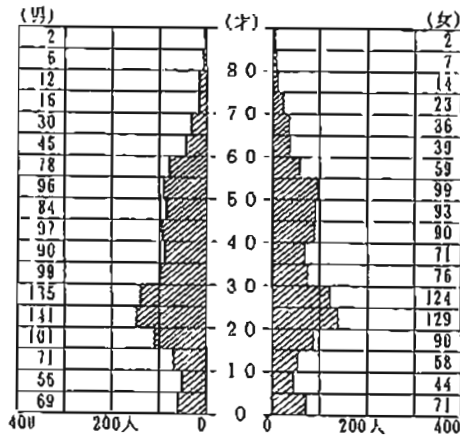
1. 基礎指標

・面積	0.245km ²
・人口(平成3年10月1日現在)	男 1,226人 女 1,127人 計 2,353人
・人口密度	9,604.1人/km ²
・寝たきり老人数	1人
・ひとり暮らし老人数	8人
・世帯数	847世帯

人口推移

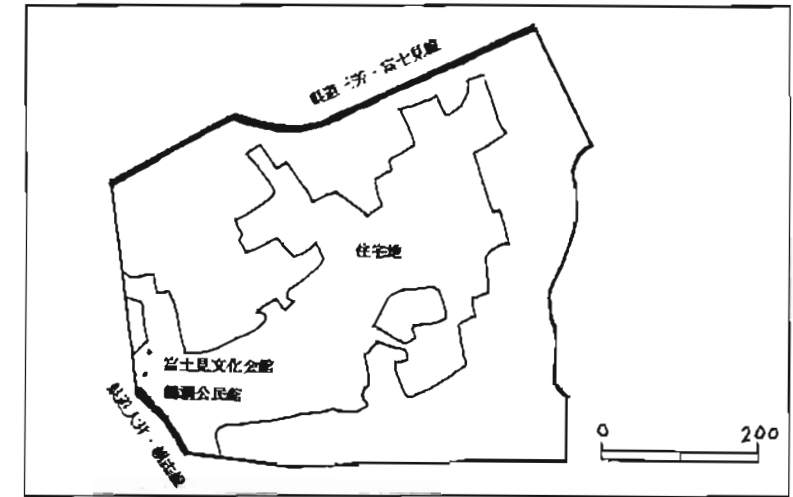


年齢別人口 (平成3年)

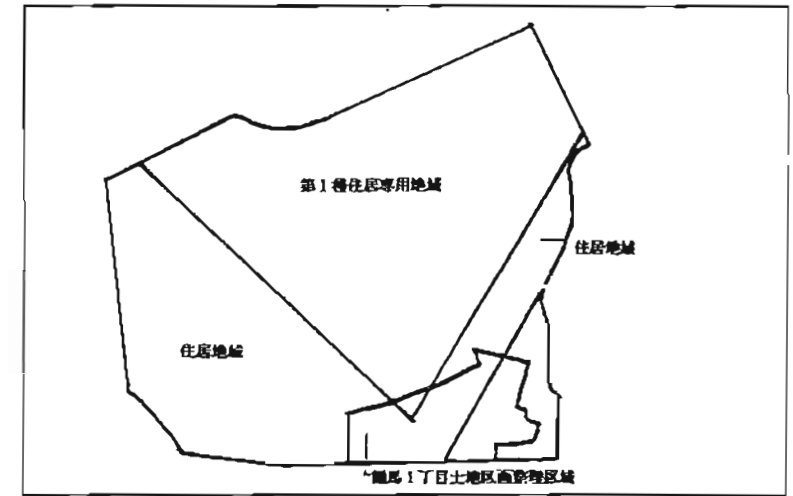


・商住工混在率住居系	94.3%
店舗系	2.7%
工業系	3.0%

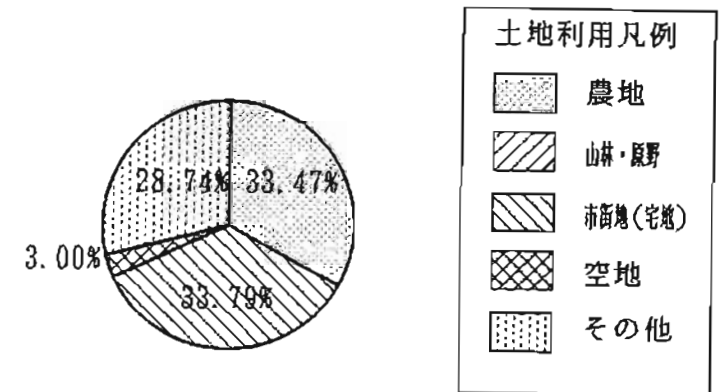
町会現況図



用途地域図



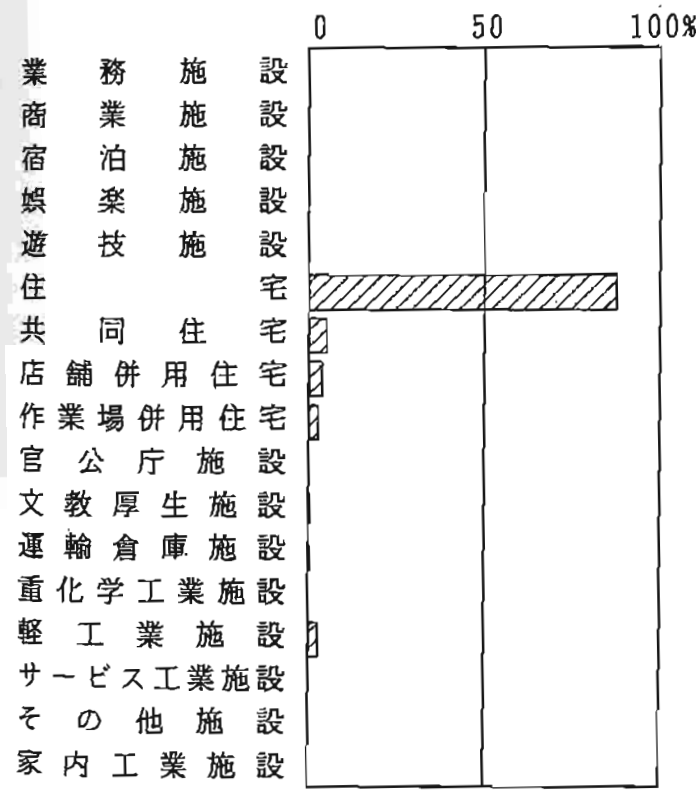
土地利用現況



2. 建物指標

・建物棟数	686棟
・木造建物	640棟
・非木造建物	46棟
・建物面積	31,755.61㎡
・木造建物	27,466.54㎡
・非木造建物	4,289.07㎡
※建物面積は1階の面積	
・住宅率	89.1%
・木造率	93.3% (640棟)
・昭和34年以前の木造家屋実棟数	30棟
・同上率	4.7%
・建物階層別現況 (木造建物)	
1階	191棟 29.8%
2階以上	449棟 70.2%

・建物用途別現況



3. 道路空地指標

・道路率	43本 175.5本/㎢
・幹線道路率	2本 8.2本/㎢
・公共空地面積	2,416.5㎡
・公共空地率	1.0%
・1人あたり公共空地	1.0㎡/人
・公共空地内容 (*指定避難所)	
名称	面積
1. 高校	0㎡
2. 中学校	0㎡
3. 小学校	0㎡
4. 公園	0㎡
5. 鶴瀬コミュニティセンター*	2,416.5㎡

4. 消防指標

所轄消防署	入間東部地区消防組合富士見消防署 応援協定 所沢市、川越地区消防組合、 新座市、志木市各消防本部
・消火栓本数	13本
・1消火栓あたり世帯数	65.2世帯/本
・消防水利貯水施設数	7 (4) か所 ()内は容量40トン以上の施設数
・消防団機械器具置場	富士見市消防団第2分団

5. 危険物指標

・給油取扱所	1か所
・一般取扱所	1か所
・屋内・屋外(タンク)貯蔵所	0か所
・地下タンク貯蔵所	1か所

6. 既往災害

・家屋浸水被害	床下	床上	道路冠水
平成 2年11月(観28号)	17棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
・崖崩れ被害 (年 ~ 年)	0件		
・火災出火件数 (年 ~ 年)	0件		
・1923関東大地震被害			
家屋全壊	0戸		
家屋半壊	0戸		
被害率	0%		

7. 防災基盤施設

消防	0か所	
病院	0か所	
医院	0か所	
休日診療所	0か所	
警察	0か所	警察署 派出所
水防施設 その他の施設	0か所	
・自主防災組織(数)	0	
・自主防災組織参加世帯率	0%	
・飲用井戸本数	0本	

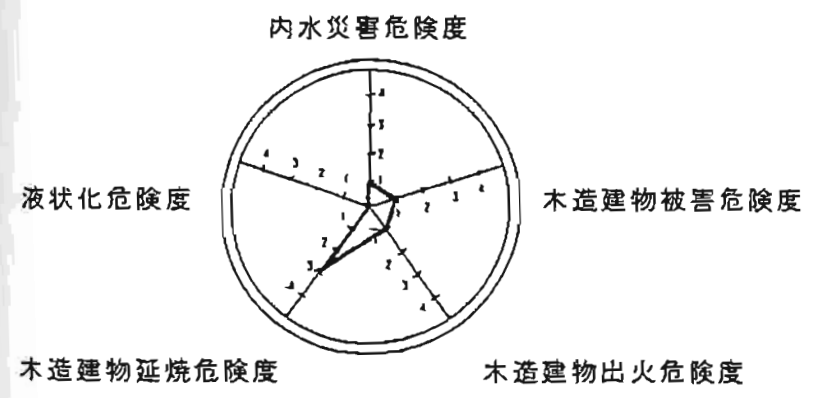
8. 危険度評価

・内水災害危険度	1ランク
・外水災害危険度	0ランク
・土砂災害危険度	0ランク
・木造建物被害危険度	1ランク
・木造建物出火危険度	1ランク
・木造建物延焼危険度	3ランク

地盤	地盤の地震動危険度	1ランク
危険度	液状化危険度	0ランク

※ 危険度評価ランク

危険度	無	微	小	中	大
ランク	0	1	2	3	4



9. 地盤条件

地盤条件は、比較的的良好といえる。震度5(+) (強震の強い方) の地震が予想される。

10. 問題点の整理

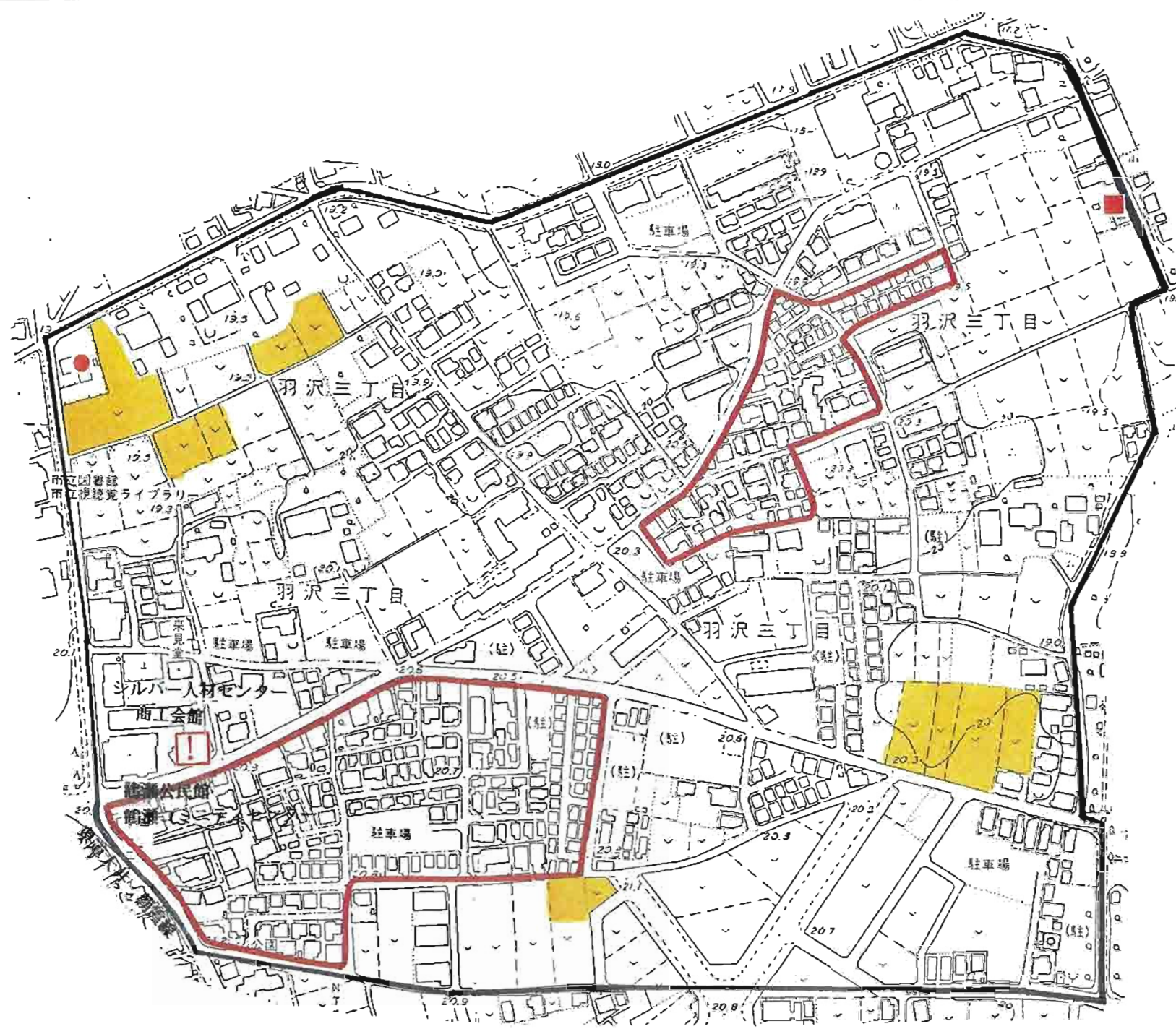
災害発生要因		災害抑止要因	
1. 内水災害	幹線道路沿いの下水路からの溢水	1. 水防能力	水防施設は設定されていない。
2. 外水災害	無い。	2. 防災組織	無い。
3. 倒壊危険	倒壊の危険性は低い。	3. 消防能力	消火栓数が世帯数と比較して少ない。住宅地内の生活道路の幅員が狭いため、消防車の消火活動は支障をきたす。
4. 出火危険	出火の危険性は低い。	4. 防火能力	木造家屋密集地域の能力は低い。
5. 延焼危険	不燃領域率は50%と見込まれるため、羽沢3丁目8番地、9番地、18番地19番地内の木造家屋密集地域で出火した場合、延焼の危険性がやや高いので注意を要する。	5. 避難収容力	町内会には鶴瀬コミュニティセンターが避難所として指定されているが収容力は低いため、諏訪2丁目町会内の諏訪小学校、諏訪神社を共用する。
6. その他の災害	無い。		

11. 解決の方向性

内水災害の予防は、幹線道路沿い及び、住宅地内の下水路の整備が望まれる。現在は、畑の冠水被害だけにとどまると考えられるが将来、宅地化された場合は、住宅の被害も予想される。木造家屋密集地域で火災が発生した場合、消防能力は低いので、消火栓の増設、生活道路の事前評価(消防車の消火活動の有効性)が望まれる。避難可能な道路は、その道路に沿ったブロック塀の倒壊、また自動販売機の転倒による道路の狭隘化の予防対策指導が必要と思われる。

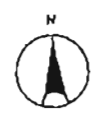
※ 想定震度 5(+) (強震(強))

防災現況図A(災害発生要因)

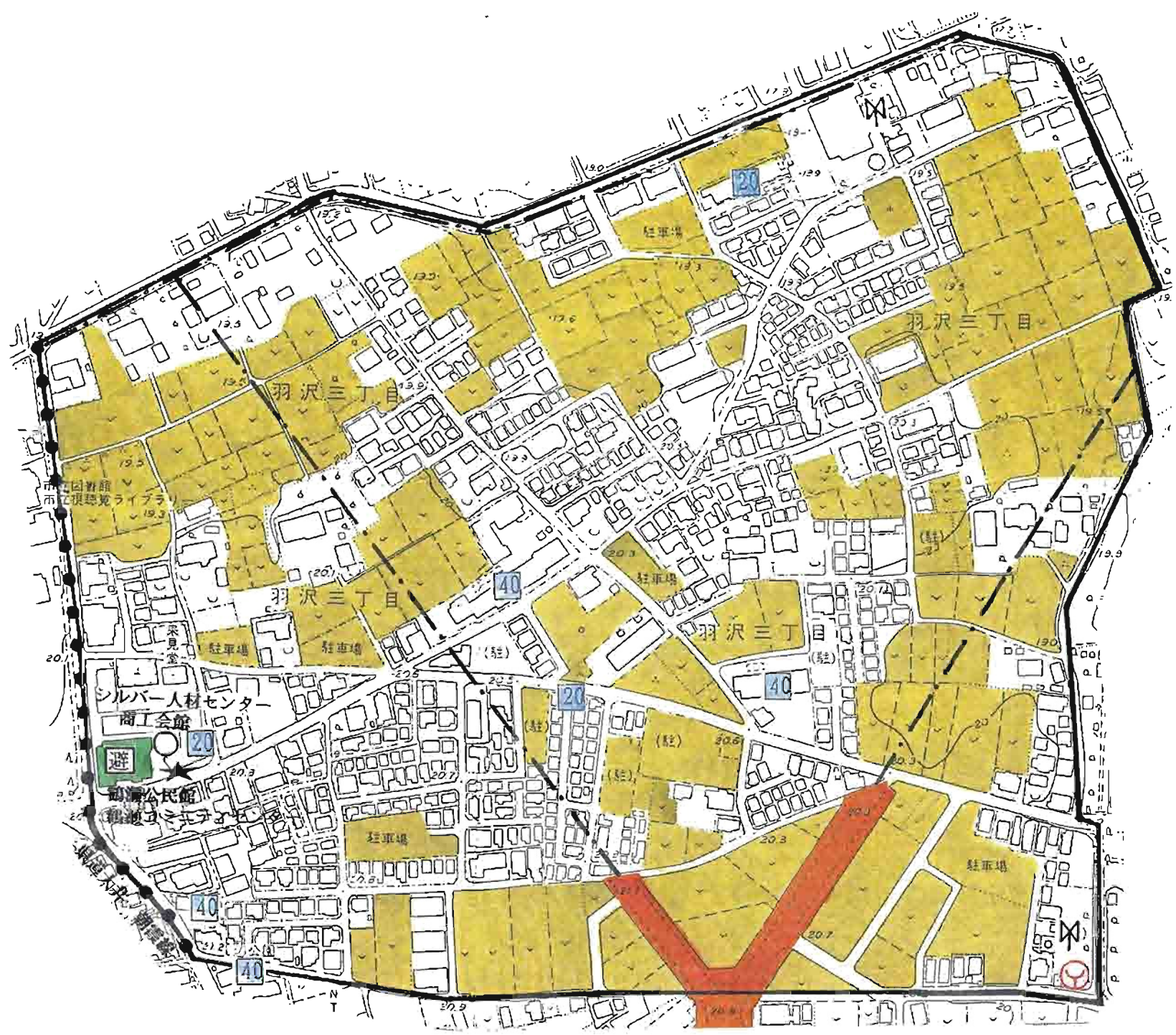


凡 例	
●	給油取扱所
■	一般取扱所
⊙	危険物屋内タンク貯蔵所
◇	危険物屋外タンク貯蔵所
Ⓜ	危険物地下タンク貯蔵所
▲	L P G 充 填 所
△	橋 梁
▽	横断歩道橋
△	立体交差
■	木造家屋密集地域
—	河川・水面
⚠	急傾斜地崩壊危険区域
■	盛 土
■	浅い谷・低地(谷底平野)

既往浸水域(平成3年台風18号)	
■	田の浸水地域
■	田の被害区域
■	畑の被害区域
■	床上浸水地域
■	床下浸水地域



防災現況図B (災害抑止要因)



凡 例	
	消防署・出張所
	消防団機械器具置場
	水防施設
	防火水槽・プール
	警察署・派出所・駐在所
	市役所・出張所・公民館
	防災行政用無線子局位置
	コミュニティ・集会施設
	保健所・保健センター
	病 院
	医 院
	休日診療所
	指定避難所
	公 園
	河川・水面
	避難可能な道路
	幅員12m以上の道路
	幅員12m以上の道路 (計画)
	学 校 (小・中・高)
	空地・水田・畑

